

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

道の駅ふじおやま「フードテラス」整備による雇用、交流の創出

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県駿東郡小山町

3 地域再生計画の区域

静岡県駿東郡小山町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

道の駅ふじおやまは年間来場者数約70万人、施設販売額約5億円の観光交流拠点であるが、その立地上トラックの滞留が多く、大型観光バスが利用しにくい状況となっている。現在、国土交通省と町において駐車場の拡張整備を進めており、新たに観光バスの立ち寄りが可能となる。また、町内に観光客向けホテルの立地が進むことで入込客が増加傾向にあることから、道の駅ふじおやまでの「食」の拡充は必須の課題となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

道の駅ふじおやまのレストランは総客席数が60席程度であり、コアタイムとなる11:30～13:00にかけてはほぼ満席の状態であるため、観光バス等を利用する団体客に対応できていない。レストランの拡張リニューアルにより新規の団体客の開拓が可能になる上、旬の地元産材の消費拡大、雇用増が可能になる。

富士山側に大きく開口する斬新なデザインの建築に加え、隣接の公園内に展示されるアートをも楽しめるよう計らい、他施設との差別化を図ることで、さらなる集客拡大を図るとともに、地域の個性や魅力を力強く発信する。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H29年度 増加分 1年目	H30年度 増加分 2年目	H31年度 増加分 3年目	H32年度 増加分 4年目	H33年度 増加分 5年目	KPI 増加 分の累計
道の駅ふじおやま 「フードテラス」の 年間売上増加額(単 位：千円)	78,600	0	14,400	9,600	2,000	2,000	28,000
道の駅ふじおやま 「フードテラス」の 年間利用客増加数 (単位：人)	98,250	0	9,600	6,400	2,500	2,500	21,000
道の駅ふじおやま 「フードテラス」の 数新規就労者数(単 位：人)	0	1	4	2	1	1	9

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

道の駅ふじおやまのレストランを、雄大な富士山の眺望を活かし、隣接する公園内のアートを楽しみつつ、旬の産物をダイレクトに味わえる洗練された「フードテラス」として拡張整備する。客席を倍増させ、厨房設備を拡充することにより団体客の受入れを可能とし、合わせて客席用の個別調理機を導入し、地場産農産物の積極的な活用や、町内特産品の情報発信を行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

静岡県駿東郡小山町

② 事業の名称：

道の駅ふじおやま「フードテラス」整備事業

③ 事業の内容

道の駅ふじおやまレストランを、富士山の雄大な景観を活かした「フードテ

ラス」として拡張リニューアル整備する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

道の駅ふじおやまには指定管理者を導入しており、民間のノウハウを活用して順調に販売額を増加させている。さらなる施設整備を行う事により、収益性が高まり、雇用促進や地域農業の活性化が見込まれる。

【官民協働】

本事業における整備に関し、指定管理者との協議や連携を密にし、商業施設としての活用のみならず、地域情報の発信・交流拠点としての役割を高める。

【政策間連携】

- ・しごと創出：恒常的に団体客の受け入れが可能になることから、施設経営が活性化し新たな雇用が生まれる。
- ・農業振興：レストランへの旬の食材供給、団体客による購入機会増加により、生産者の経営安定・農業振興が図られる。
- ・交流人口の拡大：団体利用者が新たに生まれると共に、利用するツーリストとの連携により、富士山・金時山や富士箱根トレイルなど、他の地域の魅力を積極的に発信し、交流人口の拡大につながる。
- ・地域ブランドの向上：町内や近隣に在住する芸術家の作品を隣接公園内に展示し、富士山と芸術とのコラボレーションを楽しめる空間を提供する事で、小山町のイメージUPや定住・移住に向けたブランド力の向上が図られる。
- ・防災対策：災害時にも、既設部分と合わせレストランを一時避難スペースとしてとして活用することとし、交通利用者の災害対策につなげる。

【地域間連携】

他の市町との連携により、お互いに誘客を図ることができる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始 前 (現時点)	H29年度 増加分 1年目	H30年度 増加分 2年目	H31年度 増加分 3年目	H32年度 増加分 4年目	H33年度 増加分 5年目	KPI 増加 分の累計

道の駅ふじおやま「フードテラス」の年間売上増加額（単位：千円）	78,600	0	14,400	9,600	2,000	2,000	28,000
道の駅ふじおやま「フードテラス」の年間利用客増加数（単位：人）	98,250	0	9,600	6,400	2,500	2,500	21,000
道の駅ふじおやま「フードテラス」の数新規就労者数（単位：人）	0	1	4	2	1	1	9

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

小山町が指定管理者から目標毎の数値及び事業の実施状況の報告を受けて数値目標の達成状況の確認及び事業効果の分析を行い、産官学金労言により構成する「小山町まち・ひと・しごと創生会議」で評価を行う。

【外部組織の参画者】

区長会長他8名、商工会長、企業懇話会長、御殿場農協営農部長、観光協会会長、沼津公共職業安定所御殿場出張所長、小山町議会議長、校長会長、県立小山高校長、国民政策金融公庫沼津支店長、静岡銀行御殿場支店長、スルガ銀行小山支店長、沼津信用金庫小山支店長、北駿地区労働者福祉協議会事務局長、静岡新聞・静岡放送取締役東部総局長

【検証結果の公表の方法】

毎年9月議会に置いて報告するとともに、町ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 104,883千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日（5ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 小山町DMO推進事業

小山町DMOを設立し、観光産業を軸とした事業連携により地域経済の活性化を図る

実施主体：小山町

事業期間：平成29年度～平成33年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

小山町が指定管理者から目標毎の数値及び事業の実施状況の報告を受けて数値目標の達成状況の確認及び事業効果の分析を行い、産官学金労言により構成する「小山町まち・ひと・しごと創生会議」で評価を行う。

【外部組織の参画者】

区長会長他8名、商工会長、企業懇話会長、御殿場農協営農部長、観光協会長、沼津公共職業安定所御殿場出張所長、小山町議会議長、校長会長、県立小山高校長、国民政策金融公庫沼津支店長、静岡銀行御殿場支店長、スルガ銀行小山支店長、沼津信用金庫小山支店長、北駿地区労働者福祉協議会事務局長、静岡新聞・静岡放送取締役東部総局長

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始 前 (現時点)	H29年度 増加分 1年目	H30年度 増加分 2年目	H31年度 増加分 3年目	H32年度 増加分 4年目	H33年度 増加分 5年目	KPI 増加 分の累計

道の駅ふじおやま「フードテラス」の年間売上増加額（単位：千円）	78,600	0	14,400	9,600	2,000	2,000	28,000
道の駅ふじおやま「フードテラス」の年間利用客増加数（単位：人）	98,250	0	9,600	6,400	2,500	2,500	21,000
道の駅ふじおやま「フードテラス」の数新規就労者数（単位：人）	0	1	4	2	1	1	9

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年9月議会に置いて報告するとともに、町ホームページで公表する。